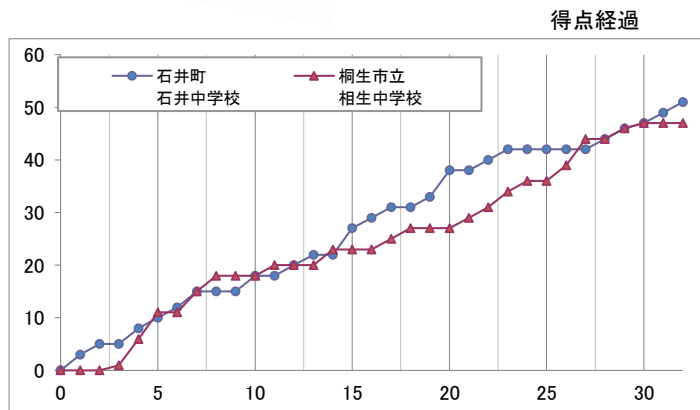




2017 ALL JAPAN JUNIOR HIGH SCHOOL SPORTS FESTIVAL

第47回全国中学校バスケットボール大会

大会名	平成29年度 全国中学校体育大会 第47回 全国中学校バスケットボール大会																
会場	沖縄市体育館																
日時	2017年8月23日(水)	10:50															
コート	OBコート 第2試合																
カテゴリー	男子予選リーグFブロック																
主審	森原 隆	(広島県)															
副審	千原 翔太	(大分県)															
TEAM A		TEAM B															
石井 (徳島県)	51 ○	桐生相生 (群馬県)															
	<table border="1"> <tr><td>15</td><td>1st</td><td>18</td></tr> <tr><td>14</td><td>2nd</td><td>5</td></tr> <tr><td>13</td><td>3rd</td><td>13</td></tr> <tr><td>9</td><td>4th</td><td>11</td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> </table>	15	1st	18	14	2nd	5	13	3rd	13	9	4th	11	—			47 ●
15	1st	18															
14	2nd	5															
13	3rd	13															
9	4th	11															
—																	



BOXスコア

TEAM A		石井町石井中学校						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	中野 輝希 (CAP)	×	10	1	3	1	2	
5	石井 湧大	×	7	1	2	0	2	
6	青木 宏輔	×	16	2	3	4	2	
7	福田 健人	×	12	0	6	0	4	
8	熊谷 楓也	×	6	0	3	0	4	
9	中野 虹輝	/	0	0	0	0	1	
10	氏久 侑真	DNF	0	0	0	0	0	
11	北原 輝昂	DNF	0	0	0	0	0	
12	田中 廉	DNF	0	0	0	0	0	
13	四宮 諒也	/	0	0	0	0	2	
14	青木 大輔	DNF	0	0	0	0	0	
15	中野 友成	DNF	0	0	0	0	0	
16	野田 海心	DNF	0	0	0	0	0	
17	川内 太陽	DNF	0	0	0	0	0	
18	北谷 莉久	DNF	0	0	0	0	0	
コーチ	藤浦 圭吾						0	
合計			51	4	17	5	17	

TEAM B		桐生市立相生中学校						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	木村 怜司 (CAP)	×	15	1	4	4	2	
5	下山 隼弥	×	17	0	8	1	2	
6	石崎 楽都	×	0	0	0	0	0	
7	坂場 泰地	×	10	2	1	2	5	
8	吉田 遥人	/	0	0	0	0	1	
9	磯貝 祐生哉	/	0	0	0	0	0	
10	田口 裕雅	×	5	0	2	1	2	
11	大沼 裕哉	DNF	0	0	0	0	0	
12	ペラレス アドリアン	DNF	0	0	0	0	0	
13	石井 飛馬	DNF	0	0	0	0	0	
14	前原 陸人	DNF	0	0	0	0	0	
15	羽鳥 裕翔	DNF	0	0	0	0	0	
16	新居 稜将	DNF	0	0	0	0	0	
17	ササン リュウイチ	DNF	0	0	0	0	0	
18								
コーチ	高野 司						0	
合計			47	3	15	8	12	

×…スターター /…出場 DNF…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

四国ブロック代表 徳島の石井中学校と関東ブロック代表 群馬の相生中学校の対戦。両チームともハーフコートのマンツーマン、石井#5の連続ミドルシュートで試合は始まる。石井#5、#6の外からのシュートに対し、相生は#4、#7のドライブ、#5のポストプレイで対抗。1Q15-18と相生リードで終わる。

2Q開始直後から相生は、中への素早いパスとドライブで攻めるも、#5の2本のシュートのみで終わる。後半から石井は#7がゴール下で絡み始め、中・外をうまく使い、#4、#7を中心に得点を重ね、29-23と逆転に成功。

石井の#7を中心としたバランスのよい攻撃に対し、相生は#4が13得点中11得点と孤軍奮闘。一進一退の攻防を繰り返し、3Q42-36で終了。

4Q相生の#4と#5のコンビネーション、#10のドライブインで開始2分半で同点に追いつき一時逆転したが、石井#7などの得点により残り3分で再び46-46の同点となったところで、両チーム共にタイムアウト。残り1分、石井#7がリング下に切れ込み1ゴールリードした。相生は激しく喰らいつすが、51-47でゲーム終了。小柄ながら素早い動きとディフェンスの粘り強さで戦った相生に対し、石井の終始落ち着いた試合運びで振り切った好ゲームであった。